

5 撤去資機材リスト

(1) 撤去作業関係者が保有（又は調達）するもの

対応する運航者撤去計画を参照すること。

(2) 空港管理部が保有（又は調達）するもの

ア 主に小型機のデボッグ（フラットタイヤ等の着陸装置トラブル）を対象とするもの

機材名	搬入出の方法・ルート、使用方法等	責任者	連絡先
ジャッキ付き カーホイールドローリー （株）ジェイウィン製ジ ェイジャッキ PRO） × 2 台	除雪車庫保管、管理車両で運搬。 本体のジャッキで車輪を持ち上げて （前輪の場合は機体後部を押し下げ てノーズを上げるのも可）ローリー部 に載せ、機体を人力で移動させる。	撤去作 業責任 者	
固定ベルト × 2 本	除雪車庫保管、管理車両で運搬。 カーホイールドローリーに車輪を固定。	撤去作 業責任 者	
台車（耐荷重数百 k g） × 1 台	除雪車庫で使用しているものを利用、 管理車両で運搬。 ローリーに車輪が乗らない場合のカー ホイールドローリーの代用。 ハンドルを倒し機体前部を人力で持 ち上げて前脚下に敷き、車止めで前脚 タイヤを固定。	撤去作 業責任 者	
車止め×1 組	管理車両に積載しているものを使用。 台車を使う場合に使用。	撤去作 業責任 者	
敷板 （ベニヤ板 9 0 0 mm× 1 8 0 0 mm×1 2 mm） × 1 5 枚程度	事後にホームセンターで購入、管理車 両（2 t 車）で運搬。 小型機を移動させる際にグラスエリ ア等柔らかい地面に車輪がめり込む のを防止。 1 輪当たり 5 枚程度を進行に応じて 順次敷き替えながら使用する。	撤去作 業責任 者	

イ 主に小型機のリカバリー（胴体着陸等による主脚・前脚部破損）やサルベージを対象

とするもの

以下の機材は小型機（5t未満）に対応したものとし、撤去作業を請け負う企業から、事前申し合わせと作業前協議に基づいて、一括で調達、搬入出まで依頼する。

また、作業は航空機乗員等、機体に関する知見がある者の助言を仰ぎつつ行う。

機材名	搬入出の方法・ルート、使用方法等	責任者	連絡先
クレーン車（100t）×1台 クレーン車（80t）×2台 ユニック車（15t）×1台	貨物・電源・消防のいずれか適当なゲートから自走搬入。 機体を吊り上げ、トレーラーに積載。 移動後、機体を仮置き場に下ろす。	藤原組 （現場作業責任者）	岸野部長 090-3638-3702 （株）川崎クレーン
吊り上げベルト×2 （ナイロンスリング）	搬送車両に積載し、貨物・電源・消防のいずれか適当なゲートから搬入。 機体の吊り下げに使用。		
トレーラー車（22t）×1台	貨物・電源・消防のいずれか適当なゲートから自走搬入。 積載した機体を仮置き場まで移動。	藤原組 （現場作業責任者）	岸野部長 090-3638-3702 （株）川崎クレーン
敷鉄板（22mm、5×10） ×必要数（100枚まで可能）	搬送車両に積載し、貨物・電源・消防のいずれか適当なゲートから搬入。 必要に応じて使用。	藤原組 （現場作業責任者）	岸野部長 090-3638-3702 （株）原商
敷板敷設用重機（バックフォー0.7 m ³ ）	搬送車両に積載し、貨物・電源・消防のいずれか適当なゲートから搬入。 敷板を使う場合に使用。	藤原組 （現場作業責任者）	岸野部長 090-3638-3702 （株）原商

ウ その他

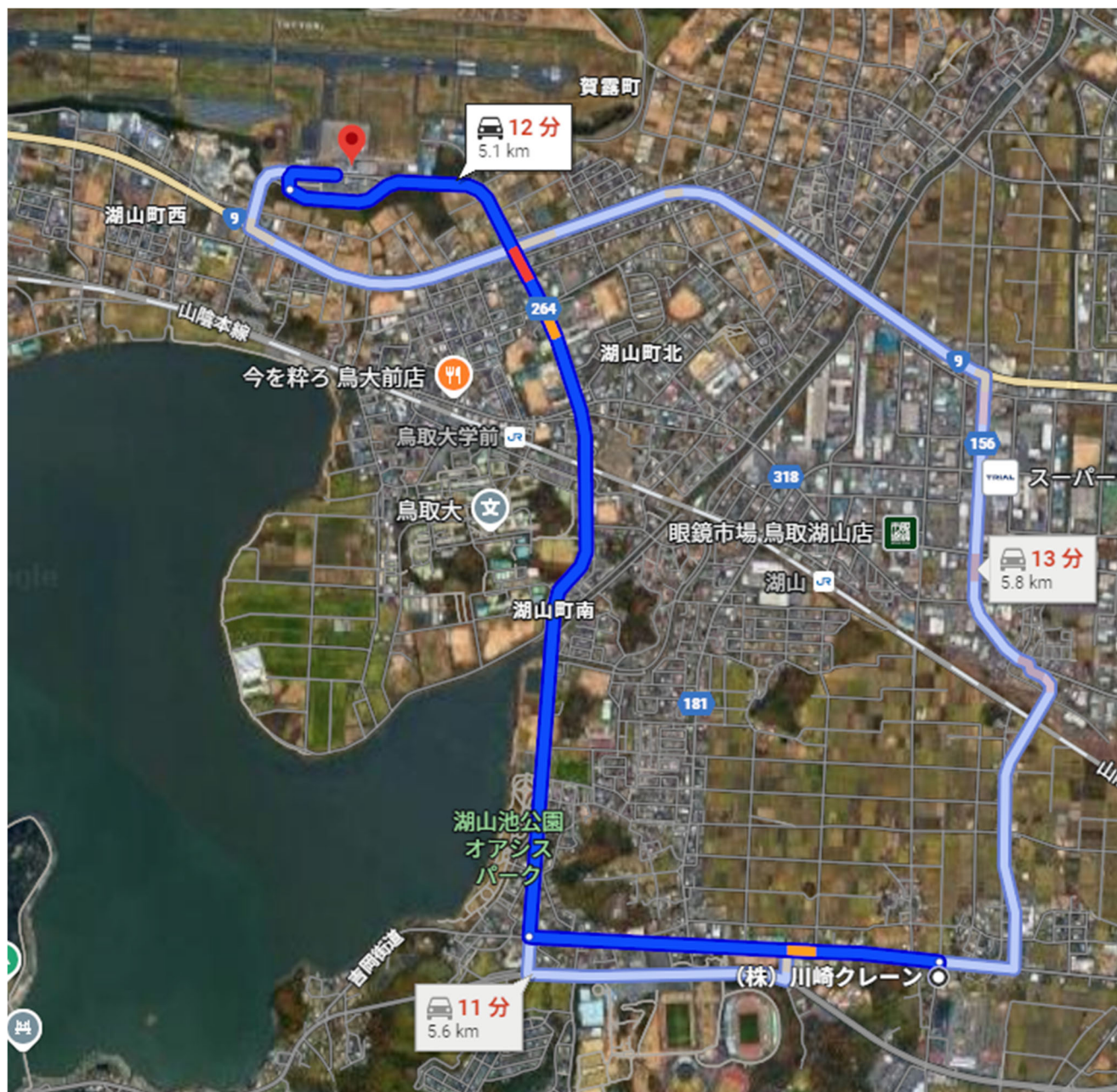
機材名	搬入出の方法・ルート、使用方法等	責任者	連絡先
バルーンライト及び発電機×1	医療資機材車に積載しているものを使用。医療資機材車又は管理車両により搬送。 夜間作業用照明。	撤去作業責任者	
照明車両（4t車）×1台	搬送車両に積載し、貨物・電源・消防のいずれか適当なゲートから搬入。	藤原組 （現場	岸野部長 090-3638-

	夜間作業用照明又は航行不能機の夜間照射。	作業責任者)	3702 (株)原商
--	----------------------	--------	---------------

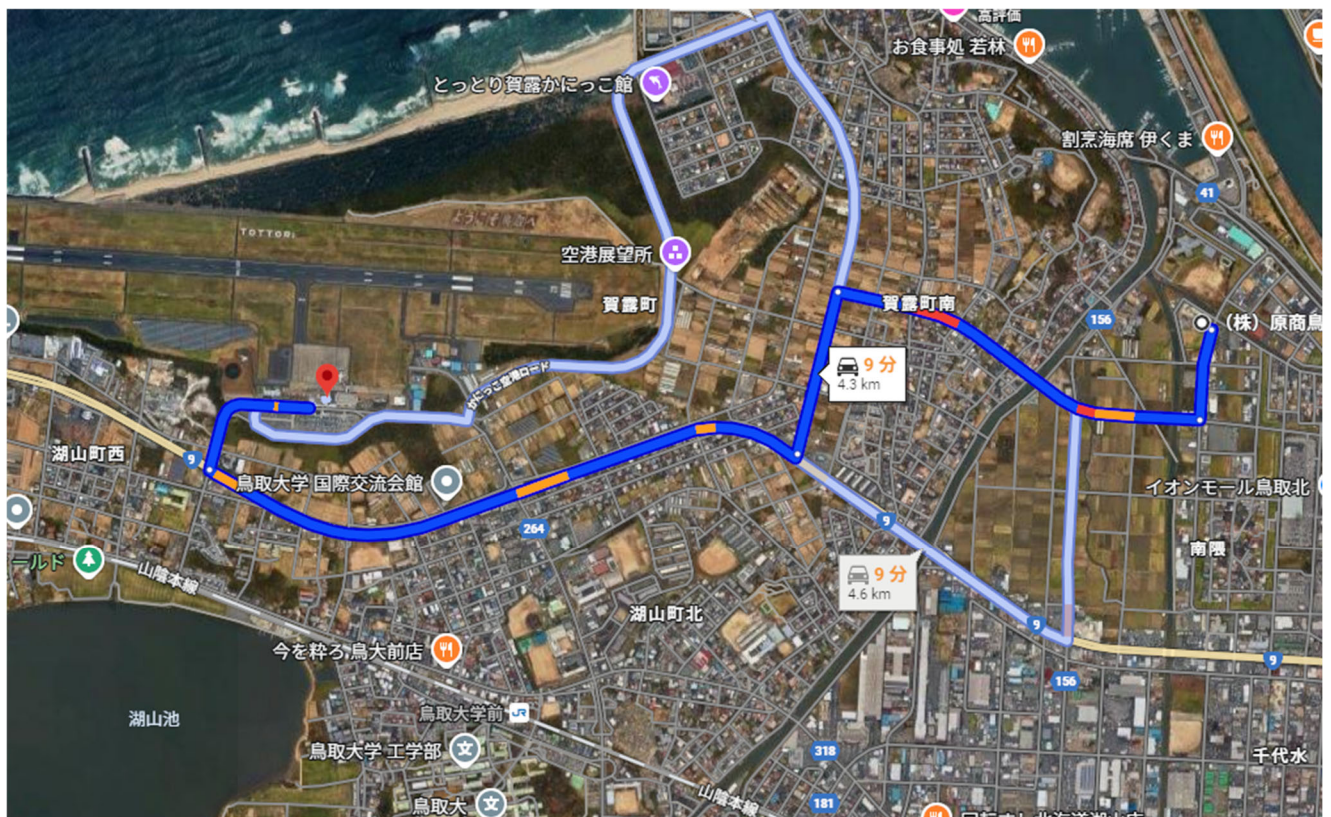
※資機材は、使用中の場合があります。

6 撤去機材等の搬入、機体の搬送ルート、重機の配置図

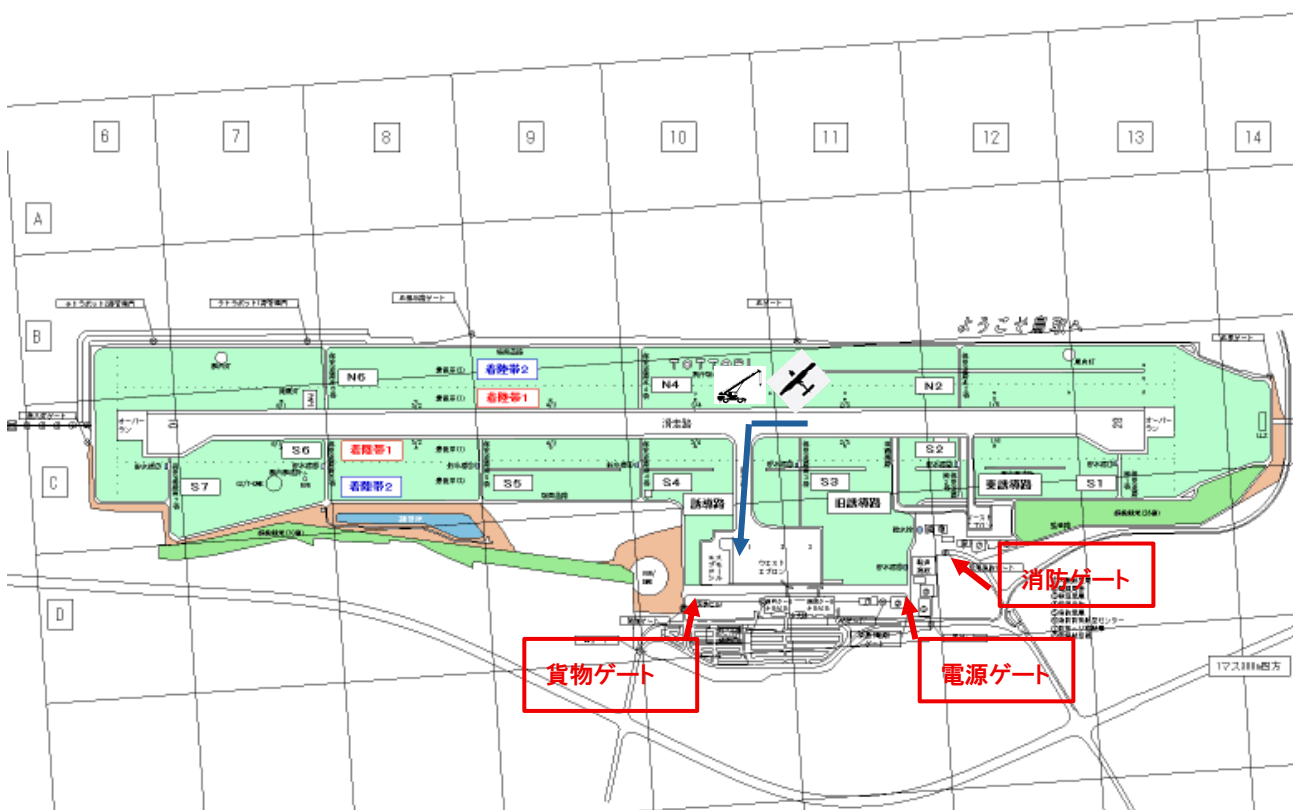
【鳥取空港までの搬入ルート例(川崎クレーン)】



【鳥取空港までの搬入ルート例(原商)】



【鳥取空港クレーン等搬入ゲート(赤)、撤去航空機搬送ルート(青)(例)】



【空港周辺図・ゲート位置】



- ※1 クレーン等の撤去機材は貨物・電源（緊急）・消防の各ゲートから搬入出可能。機体までは誘導路又は保安道路・旧誘導路を経由。固定搭乗橋下の高さ制限に注意。
- ※2 航行不能となった機体は滑走路、西誘導路経由で搬送し、ラージエプロンの1番スポット又はスモールエプロンの6番スポット又は電源局舎前の空き地に仮置き。修理場所等は空港管理部と協議すること。
- ※3 グラスエリアでの作業には敷板が必要。（人力搬送→ベニヤ板 重機使用→鉄板）